

【小学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>□「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の2領域1事項で全国平均を上回っている。</p> <p>□「読むこと」では、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。特に目的に応じて必要な情報を捉える問題では、正答率が低くなっている。</p> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>□「話すこと・聞くこと」「読むこと」では、全国平均を上回っている。</p> <p>□「書くこと」</p> <p>全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。</p> <p>□いずれの領域においても、記述式の問題における回答率が全国平均よりやや高くなっている。</p>	<p>●目的に応じて、必要な情報を捉えること。</p> <p>●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。</p> <p>●推薦文を書くためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。</p>	<p>○何のために調べるのかという目的を明確にし、自分が必要とする情報がどこにどのように書かれているかを捉えることができるようにする。(目次や索引、見出しに着目して読む、キーワードを見付けながら読む、図表と結びつけながら読むなど。)</p> <p>○目的に応じて適切な本や資料を選んだり、効果的な読み方をしたりする。また、自分の知識や経験、考えなどと関係付け、自分の考えをまとめていく活動の充実させる。</p> <p>○その事物について良く認識し、確かな根拠に裏付けられていることや他のものと比較してよさを捉えることができるようにする。(文章を書くことの他に、スピーチや本を読んで伝えるなどの言語活動との関連を図る。)</p>

小学校
国語

【小学校算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>□「数と計算」「図形」「数量関係」の3領域で、全国平均を上回っている。</p> <p>□「量と測定」では、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。</p> <p>□「数と計算」の「小数の除法の意味について理解している」では、正答率が低く、全国平均を大きく下回っている。</p> <p>□「数量や図形についての技能」で、分度器の目盛りを読む問題では、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。</p> <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>□「数と計算」「量と計算」「図形」「数量関係」の4領域全てにおいて、全国平均を上回っている。</p> <p>□「数学的な考え方」で「分配法則の式に表現することができる」問題では、全国平均をやや下回っている。</p>	<p>● 小数の除法の意味について理解していること。</p> <p>● 180° や 360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めること。</p> <p>● 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現すること。</p>	<p>○ 図や数直線を用いて、数量の関係を的確に捉え、立式することができるようにする。</p> <p>○ 角の大きさに見当を付けて、どの角の大きさを測定すればよいのかを捉えることができるようにする。また、誤りを防ぐために、見当を付けた角の大きさと測定した角の大きさを振り返って確かめることができるようにする。</p> <p>○ 児童自らが数量の関係を見出して考察し、その数量の関係がほかの場合でも成立することを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現することができるようにする。</p>

小学校
算数

【小学校理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>□主として知識に関する問題では、全国平均とほぼ同等であるが、やや下回る。</p> <p>□「自然事象への関心・意欲・態度」では、全国平均とほぼ同等であるが、やや下回る。</p> <p>□「自然事象についての知識・理解」では、全国平均を大きく下回っている。</p> <p>□「自然事象への関心・意欲・態度」の分野で「堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している」問題は、全国平均を大きく下回っている。</p> <p>□「電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる」問題では、全国平均を大きく上回っている。</p> <p>□「科学的な思考・表現」では、全国平均とほぼ同等であるが、やや上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想すること。 ●骨と骨のつなぎ目について科学的な言葉や概念を理解すること。 ●堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。 ●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること。 ●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用すること。 ●実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全への配慮や生物への影響について考える場面を設定する。 ○実際の自然の事物・現象に適用して説明する場面を設定する。 ○言葉の意味を的確に捉えることができるよう実際の自然の事物、現象に適用して説明する場面を設定する。 ○獲得した知識を、日常生活と関係付けて図や模型を用いて考えたり、説明したりするようにする。 ○既習の内容や生活経験と関係付けて話し合う場を設定する。 ○自分の考えを表現したり、他者の考えを聞き、自分の考えを振り返るなどの話し合いを重視した学習活動を充実させる。

小学校
理科